問合せ電話番号: 06-6311-3681

## 訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社イメージ・ラボ 全日あり / 〇 一部あり / なし ○ あり なし / 〇 有料 無料 ○ あり なし あり ○ なし 訓練実施施設名: ハロー介護スクール梅田B教室 ■土日祝日訓練の有無: 問合せ先住所: 〒 5 3 0 - 0 0 2 7 大阪府大阪市北区堂山町1番5号 三共梅田ビル5階 事務局 ■法定講習に係る補講: ■相モデルによる訓練:

■合同開催による訓練:

			~	実践コース	(	05 介	護・医療	護・医療・福祉分野			)			就職を想定する職業・職種			
訓練の種別			職場復帰支援・			託児サービスコース					訓練コース 上100時間未満						
				「企業実習促進奨励金 希望する場合に「〇」を		給を	〇 支	職場見学等促進 :給を希望する 記入					] 		3 A =# Cl		
訓練科名												設介護	: 貞				
-	募集	期間(予定)	-	令和7年12月3		~ 令和7年12月22日											
選考日(予定)				令 和 8 年 1 月 6 日													
選考方法			~	面接	筆記試験					その他(			)				
選考結果通知日 訓練期間 訓練時間				◆ 和 8 年 1 月 13 l	8												
			令和8年1月26日 ~ 令和8年7月25日 (6 か月) (訓練日数 110 E											3)			
			9 時 10 分 ~ 15 時 50 分 訓練定員 25 名														
1	訓練文	対象者の条件	特に	なし													
(特:	訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)			新規学校卒業者 被災者			ニート等	等の若者			障害者			母子	家庭の母等	)	
	訓練目標 (仕上がり像)			か護従事者としての職業倫理と幅広い知識・技能を習得する為に、専門の講師から的確な指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護 きる人材を育成する。													<b>選業界で活躍で</b>
	訓練修了後に取得														任意受験		
ā				名称(同行援護従業者養成研修一般課程)認定機関(株式会社								株式会社イメー	会社イメージ・ラボ )				
	で	きる資格	_	称( 同行援護従業											任意受験		
<u> </u>	S		名称( 全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程 )認定機関( 株式会社イメージ・ラボ )									)	任意受験				
	① IT分野の訓練に			における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「〇」を記入)													
(	2) W	EBデザインの	訓練	こおける基本奨励会	金の物	寺例措	置(WE	B特例)の通	歯用に係る	希望の	の有無(適	用を希望する	場合のみ「〇」	を記入	()		
(	3) D	X推進スキル村	標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「〇」を記入)														
		訓練概要		従事者に必要な制度、( ((日によって訓練時間:										支演習7	で介護技術を習得し、	実際に企業す	『習で経験を深め
			科目								<b></b>	目の内容					訓練時間
		開講式・オリエ	ンテー	・ション・修了式	開講	式・オリ	リエンテー	ーション(3H) 作	多了式(3H)								
		安全衛生	安全衛生			の健康	管理、整	整理整頓の原則	J								1時間
		人間の尊厳と自	尊厳と自立			尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念										6時間	
		社会の理解	4			介護保険制度、社会保障制度、障がい者自立支援制度、介護実践に関する諸制度										36時間	
		介護の基本	<u> </u>			介護福祉士制度や介護福祉士の倫理、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全										30時間	
		コミュニケーショ	ケーション技術			介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション										20時間	
		介護過程の理解	隻過程の理解			介護過程の目的、意義、展開の理解、情報収集、アセスメント、介護計画の評価と見直し										45時間	
	学	発達と老化の理	症の理解			老化に伴う心と体の変化と日常生活への影響、人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点									30時間		
	科	認知症の理解				認知症による生活障がい、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家 族への支援の実際 順がい者福祉の理念、障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴、障がい児者や家族へのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た障										30時間	
		障がいの理解				厚かい・宿倫征の埋念、厚かいによる生活厚かい、心理・行動の特徴、厚かい児者や家族へのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た厚 がいの理解、障がい児者への支援の実際   介護に関係した身体の仕組みの基本的な理解、人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセ										30時间	
			ろとからだのしくみ 			スメント・観察のポイント・介護・連携の留意点										20四十月	
		医療的ケアの知				医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順) 陣がい者(児)福祉制度と同行援護事業、同行援護従業者の業務、同行援護従業者の職務倫理、陣がい者の人権、障がい者の理解、陣がい									60時間		
訓練			司行援護の知識 と身性障がい者移動支援の知識			陣かい者、比。 権低制度と同行接護争業、同行接護使業者の業務、同行接護使業者の職務簡単、陣かい者の人権、 障かい者の生解、 陣がい 者 (児) の心理、 介助の基礎知識  障がい者 (児) 福祉制度と移動支援事業、 移動支援従業者の業務、 移動支援従業者の職務倫理、 障がい者の人権、 障がい者の理解、 障がい									20時間		
内						者(児)の心理、移動介助の基礎知識										13時間	
容		就職支援	ンガーマネジメントの知識			窓りの感情の理解、感情のマネジメント方法、他者理解										3時間	
		生活支援技術				国接指導、腐ದ書作成指導、ショノ・カート作成支援 介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助)、環境整備、福祉用具の活用の視点									50時間		
			ト護過程の実践													45時間	
	実技		ころとからだのしくみ演習			知識・技術を活用した介護過程の展開、利用者の状況に応じた介護を実践するための応用力											30時間
		医療的ケア演習				介護に関係した、身体構造や機能に関する演習 シミュレーターを用いた喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、シミュレーターを用いた経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄											22時間
		同行援護の演				揺誰に	おける其	<b>基本介助技術</b>									16時間
			<sup>選の演員</sup> 暲がい者移動支援演習			同行援護における基本介助技術 - 移動介助の基本技術、交通機関利用の介助演習										11時間	
		企業実習			12.00		実施しな		実施す								70時間
					【職	【職業人講話】「介護員としての心構え」(介護業界のデジタル技術活用事例の紹介を含む) 1時間×2回									2時間		
	職場見学、職場体			体験、職業人講話	【職	【職業人講話】「介護員に求められる人物とは」1時間×2回								2時間			
					【職	【職業人講話】「介護業界の動向と特徴」1時間×2回									2時間		
		訓練時間総合計	629時間		1	学科	+ /L	379時間	実技	į	174時間	企業多		_	職場見学等	6時間	
I			の負担する費用	-	教科書代 0円 その他 ( 全身性 時代 い 美統勒 支持 楽架 为 「(三) 「福岡 の 楽楽   「												
		受講者0		企業室型に係るな活動電影 健康診断判900円(铅3) 法中議型欠廃に係る結議								680円					
<u> </u>				<sup>1</sup>													
指		訓練形態(個	別指導・補講を除く) 対等を有効に活用	尊・補講を除く)	~	+		白を一至に果 よっても指導す				オンライン	/によっても指導す	る(当該	亥日通所不可·単独型	) オンライン料	時間
導						座学に	加え、ロ	ロールプレイン	ングやグル	ープワ-	一ク等の体	験学習を積極	的に取り入れ、学	智効!	果を高める。	1	1
方法		した効果的な指			+								ト護場面における えちが理解でき			《帝)	- 田紀が河士 -
		受講者ごとの特! に応じた指導の!						・演省を通し 生に対しては					<b>ヘ</b> 刀か理解 じさ	しいる	か、習得度を講師だ	いおに把握し	、垤胖か深まつ



	訓練カリキュラム(企業実習用)								
		科目	科目の内容						
訓練内容	実技	生活支援技術 ・ 介護過程の実践	生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援 介護過程を踏まえたサービス提供	69時間					
	その他	安全衛生	衛生管理項目の確認、救命装置の設置場所確認、 うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間					

地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約8分

JR大阪駅より徒歩約10分